

文化庁委託事業「令和7年度 障害者等による文化芸術活動推進事業」
舞台手話通訳者の人材育成および実践普及、観劇サポート啓発

TA-net成果報告会（第12回シンポジウム）企画概要

目的: 設立当初から実施してきた事業と令和4年度から受託している文化庁事業を振り返り、『観劇アクセシビリティとは何か』について、各々の実践や課題等について発表し、共に考える機会を創出する。

1 日程 令和8年2月7日(土)、8日(日)

2 会場 東京大学先端科学技術研究センター(ENEOSホール、セミナー室他)
<https://ds.adm.u-tokyo.ac.jp/material/pdf/20120608144253.pdf>

3 内容

◎ 1日目 / 分科会（実践のレポート発表、ディスカッション）

2月7日(土) 13:00～16:00

3つの分科会に分かれ、観劇アクセシビリティの実践についてのレポート発表
(各分科会: レポート2本)、及び参加者とのディスカッション
※各分科会: ファシリテーター1名

<発表者>

①『連携』 ファシリテーター: 長津結一郎

(1) 半田桃子(株式会社momocan) / (2) 渡部安世

②『実践』 ファシリテーター: ののあざみ

(1) 集合研修in岡山(中村千穂、泉田絵理) / (2) 集合研修in岩手(大平のり子)

③『啓発』 ファシリテーター: 萩原彩子

(1) UDCast(Palabra株式会社)

(2) 美月めぐみ(バリアフリー演劇結社ぱっかりぱっかり)

◎ 2日目 / 全体会（実践報告、パネルディスカッション）

2月8日(日) 12:30～15:30

取組概要報告、観劇アクセシビリティについてのパネルディスカッション

<登壇>

- ・ 長津結一郎(九州大学大学院芸術工学研究院 准教授)
 - ・ ののあざみ(大阪市立芸術創造館 館長)
 - ・ 萩原彩子(筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター 講師)
 - ・ 進行: 廣川麻子(NPO法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク理事長)
-

4 参加者

- ・ 分科会：各分科会20～30名程度
- ・ 全体会：150名程度 ※参加費無料

5 対象者

TA-net会員及び一般参加者(当事者、及び劇場や公共施設、劇団関係者等)
観劇アクセシビリティに関心のある方

6 申込方法 Googleフォーム

- ・ 事前申込制、定員あり、先着順
- ・ 1月5日(月)から受付開始 ※申込締切: 2月1日(日)

7 その他

1) 情報保障 手話通訳、文字支援(分科会、全体会とも)

2) 観劇アクセシビリティ機器__ブース展 2月8日(日)12:00～16:30

- ① 株式会社イヤホンガイド
- ② 株式会社エンサウンド
- ③ 株式会社ソナール
- ④ 株式会社リアライズ
- ⑤ UDCast(Palabra株式会社)

3) アーカイブ配信

後日、特設サイトにてアーカイブ無料配信を行う。

全体会のみ / 映像制作: 上田謙太郎

主催: 文化庁、特定非営利活動法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク

共催: 東京大学先端科学技術研究センター当事者研究分野 附属包摂社会共創機構